

科目区分	専門分野	履修学年	1 年前期	単位数	1	時間数	30
科目名	看護の基本となる技術 (看護技術とは、コミュニケーション、安全・安楽)			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術 I 2) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術 II						
テキスト以外の教材・参考書等							
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>本科目は、看護技術を実践するための基本である、看護技術とは何か、人間関係構築のためのコミュニケーション、安全安楽を守るための姿勢・ボディメカニクスの内容で構成する。看護実践のための技術を目的・根拠をもって実践する必要があることを理解できるようにする。コミュニケーションでは、人間関係論でも心理学やカウンセリングを学ぶが、人間関係を成立・発展させるため、看護場面でのコミュニケーションを想起できるようにする。安全・安楽では、法律や倫理に基づき、安全対策と医療事故と予防策の基礎を学べるようにする。3年時の医療安全を学ぶ際の基礎となるようにする。安楽では対象と看護者の安楽を守る技術として姿勢やボディメカニクスについて理解できるようにする。リハビリテーション看護にもつなげられるようにする。看護実践に共通する基礎的知識と技術を学ぶ。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護技術のもつ特徴について理解できる。</li> <li>2. コミュニケーションの基本について理解できる。</li> <li>3. 看護場面での効果的なコミュニケーションについて理解できる。</li> <li>4. 対人関係を保つためのプロセスについて理解できる。</li> <li>5. 看護場面での安全・安楽の意義について理解できる。</li> <li>6. 安全・安楽な医療や看護を提供するための基本が理解できる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験 演習（参加状況、レポート）						
備考	<p>コミュニケーションの演習ではプロセスレコード、振り返りレポートを提出すること。</p> <p>安楽な体位、ボディメカニクスについて学習し演習時に持参すること。</p> <p>関連科目：人間関係論, 生命倫理, 医療と法律, リハビリテーション, 放射線医学, 医療安全</p>						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	看護技術とは何か 看護技術の特徴と構成要素	
2	コミュニケーション技術 コミュニケーションの基本	
3	コミュニケーションの構成要素 コミュニケーションの種類 看護場面でのコミュニケーション	
4	コミュニケーションに必要な能力・態度 コミュニケーションを妨げるもの	
5	対人関係の振り返り プロセスレコード、ロールプレイ、リフレクション	
6	看護場面を想定したコミュニケーションの実際 プロセスレコード記載	演習
7	コミュニケーションの振り返り	演習
8	安楽を守る技術 医療安全の意義と確保 罨法（温罨法、冷罨法）	
9	リラクゼーション 主な医療事故と予防策	
10	医療事故と医療過誤 転倒・転落、外傷、チューブ・ライントラブル、誤薬、誤飲・窒息、放射線・薬剤暴露の予防	
11	効果的で安楽な動きを作り出す技術 安楽な体位	
12	ボディメカニクス	
13	安楽な姿勢・体位の保持の実際 ボディメカニクス活用 of 実際	演習
14	振り返り	
15	終講試験 まとめ解説	